

平成 23 年 3 月 30 日(水)

(社)岩手県ろうあ協会・県立視聴覚障がい者情報センター支援チーム始動！（報告）

平成 23 年 3 月 27 日(日)

岩手県ろうあ協会役員(会長・副会長・事務局長・一関支部長・女性部長)とろう協認定手話通訳者 5 人、県立視聴覚障がい者情報センター職員 2 名(副所長・情報支援員)は、5 チームに分かれて、3 地区（釜石市/大槌町、大船渡市、陸前高田市）の聴覚障がい者の相談支援を目的に、聴覚障がい者約 20 人、その他関係者(手話通訳者/手話サークル員)を個別訪問した。

また、各チームは支援物資の運送、心のケア、今後の支援方法についての情報収集を行ってきた。



状況報告（3 点抜粋）

A：震災前から通っているある施設で寝泊まりし、近隣施設で入浴はできる。しかし、施設内での会話が不十分でストレスがある。

☐B: ライフラインは復旧しているが水道は濁っていて飲用には使えない。灯油が入手できない。市役所の給水所には、足が悪く行けない。家族にも頼めないでいる。

☐C: 自宅が被災(1階浸水)。浸水のためテレビと電気設備が壊れてしまったため、情報が全くない。会社には片付けのため出勤している。

● 3月23日

ろうあ連盟の久松事務局長・浅利理事が来盛し、岩手県庁障がい福祉課を訪問する。



● 被害状況について

↓地震直後の、事務所の様子



今回の訪問で、安否確認できなかった人の無事を確認できた事は良かった。訪問した地域へまた行く予定であるが、今回行けなかった宮古市にも行く予定。4月3日(日)に、岩手県内聴覚障がい者関係7団体が、岩手支援本部を結成する予定。今後の支援について協議を始める。

以上